

# 牡幼だより

第5号

【ホームページ】 <http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～ひまわりの花、開花！～



## りんごの「ご」とゴリラの「ゴ」

1学期後半の子どもたちは、自分のお店を作って、交流園の子どもたちや小学生、祖父母の皆様、おうちの方たちと楽しむことができました。

お店の名前が分かるように「看板があるといいな」という必要感から文字を書こうとする姿が見られました。ある時、りんご飴屋さんを开店させた子どもは、りんご飴屋さんのりんごの『ご』はどう書くの。」と担任に話していました。それを聞いていた他の子どもが「あっ！ゴリラの『ご』だ。」と言って、「りんごの『ご』」と「ゴリラの『ご』」が同じ響きだと気付いて、お気に入りのゴリラの絵の本を開き『ご』を探し始めました。あいにくゴリラの『ご』はカタカナ表記になっていて見つけれませんでした。子どもたち3人は、再び保育室のあちらこちらで『ご』を探したという場面に出くわしました。

幼稚園教育要領には、文字を教えるという明記はありません。幼児は、いろいろな書き方をする姿があり、文字を使う喜びを味わうことが大前提であること。また、幼児期は生活の中で文字などの記号がどんな機能と役割があるのかに関心に向け理解していく道筋が、一人一人の子どもに合った自然な形で育っていくように……と記されています。まさに、たけ組の3人は、お店屋さんごっこを通して、互いに刺激し合いながら文字に関心に向けていた時期でした。

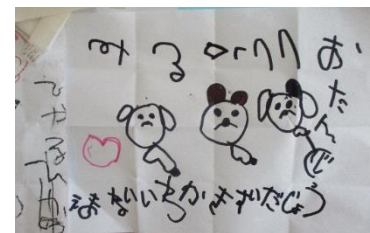


年長組3人での生活がスタートして、あっという間の1学期でした。子どもたちは、下学年の子どもはいなくても、幼稚園で一番大きいクラスになったことが嬉しくて何をやるにも「たけ組さんになったからね。」「たけ組だものね。」と張り切って生活をしてきました。

明日からいよいよ夏休みです。今、子どもたちが興味、関心をもっていることを親子でたっぷり楽しめるといいですね。子どもたちが家族の一員として役割をもち、健康で安全な生活を送れますことを心より願っております。2学期の始業式の日「また、会いましょう！」



「ご」の文字を慎重に書きました。



ウサギのミルクへの誕生祝いのお手紙。  
溢れる思いを文字にしたためました。



### 上木戸こども園・中山保育園との交流

他園の友達を迎えるときには、折り紙の飾りをつけてウエルカムボードの準備をします。

「〇〇ちゃん、泡をつくるの上手だね。」  
「私も、やってみたいな。どうやるの。」

「りんご飴はもらってもいいの？」  
「食べたなら、返してね。」「返すんだって。」

「ポップ焼きは、カリカリとふわふわがあります。どっちがいいですか？」「え〜とつ。」

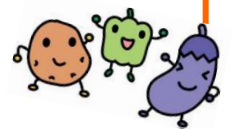
「かき氷ください。」「はい、何味がいいですか。」かき氷が出てくる仕掛けにびっくり！

「また、きてね。」  
「え〜！またきてもいいの？」「いいよ！」



### カレーパーティー(7/20)

春から育ててきたジャガイモや実った夏野菜を収穫しました。カレー作りに必要な食材も買い物に行きました。これで準備OK！野菜の皮をむいたり切ったりして、カレー作りに挑戦。おうちの人を招待して、おいしいカレーをいただきました。その後は、畑でとれたスイカで“スイカ割り”。子どもたちが考えたパーティー、大成功！



七夕の会。3年ぶりに祖父母の皆様を招待しました。



ジャガイモの収穫。うんとこしょ！どっこいしょ！



絵本タイム。おうちの人を読み聞かせをしてくださいました。



牡丹山小学校の校長先生からカフト虫をいただきました。



顔に水がかかっても、へっちゃらになりました。



牡小の4年生と一緒に遊びました。小学生は足が速いね！